

挑戦 残業0

企業名	(株)橋本店	所在地	仙台市
業種	総合建設業	労働者数	181名
電話番号	022(714)7020	ご担当者	尾崎総務部長

(取組の目的)

従業員のワークライフバランスを充実させ、働きやすい職場づくりを構築すること。

(取組内容)

長時間労働の削減、作業効率化、生産性向上等に取り組んだ結果、時間外労働の削減が進んだことから、令和5年11月より新たに「挑戦 残業0」を目標に掲げ、さらなる取組を推進している。

★ これまで進めてきた取組（要旨）

- PC自動シャットダウンシステム
所定労働時間あるいは残業申請がなされた時間を一定時間超えると、自動でパソコンがシャットダウンされ、労働時間管理の適正化につながった。
- 内勤者（事務部門）についてフレックスタイム制導入
- RPA（Robotic Process Automation）の導入
RPAとは、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のこと。データチェック作業や転記作業など、定型的で反復を伴う事務を自動化し、文書作成作業の負担を軽減した。
- 就業ベル
現場において、終業時刻1時間前と終業時刻の2回、時刻を知らせるベルを鳴らし、就業時間内に業務を終えることについての意識改革につながった。

★ 令和5年11月からの取組項目

- BIM/CIM（Building/Construction Information Modeling）の活用
BIM/CIMとは、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることを目的とする取組。
関係業者との打合せ時間の短縮、施工手順の可視化、設計変更業務の効率化などの効果が期待される。
- 社内書類等の見直し（簡素化・電子化・廃止）
- 新規安全教育の自動化
- 現場事務の支援スタッフ配置（書類作成・写真整理等）
- 現場施工図のAR（Augmented Reality）化
ARとは、「拡張現実」を意味し、目で見ている光景にCG映像などが合成されあたかも実存するように見える技術のこと。現場でタブレットを掲げると、映像で施工予定の図面を確認できるようにすること等によって、現場管理業務負担の削減が期待される。
- 実行予算作成と注文契約（業者・資材）の早期対応
現場担当者のみでなく、事務統括部門が協力することにより、早期着工し、工期に余裕を確保する。

挑戦 残業0
新しい働き方は「私」がつくる！
夢、かぎりなく。

仕事も私生活も、私たちの夢や挑戦が尽きることはありません。ワークライフバランスの充実を大切に、仕事と私生活の充実を両立させる環境を提供しています。

HASHIMOTO

項目	効果	削減時間/年	担当責任者
1 施工現場による3Dモデルの活用(建築現場工事)	職人・作業員との打ち合わせ時間短縮	80時間/年(約10日分に相当)	現場課 課長(兼)現場課長 佐々木 孝
2 BIM/CIM/4D-5D活用	施工手順の可視化と設計変更業務の効率化	80時間/年(約10日分に相当)	土木課 デジタル推進課課長 土田 洋
3 安全管理業務の電子化・クラウド化	事務作業負担の削減	160時間/年(約20日分に相当)	執行役員 労務安全課長 松山 誠
4 新卒安全教育の自動化	教育負担の削減	120時間/年(約15日分に相当)	執行役員 労務安全課長 松山 誠
5 現場事務の支援スタッフ配置(書類作成・写真整理等)	現場事務負担の削減	40時間/年(約5日分に相当)	現場課 課長(兼)現場課長 佐々木 孝
6 現場施工図のAR化	現場管理業務の削減	20時間/年(約2.5日分に相当)	土木課 デジタル推進課課長 土田 洋
7 実行予算作成と注文契約(業者・資材)の早期対応	現場工事による工期の早期確保	50時間/年(約6日分に相当)	執行役員 土木課長 佐々木 孝
8 社内書類等の見直し・簡素化・電子化・廃止	事務作業負担の削減	20時間/年(約2.5日分に相当)	総務課長 尾崎 幸
合計削減時間 570時間/年			土木課 190時間/年 現場課 190時間/年 総務課 20時間/年 事務部門 20時間/年

2023.11現在

(取組の効果・結果)

- 内勤者（事務部門）について、残業ゼロを達成。全労働者の1か月の時間外労働時間について、令和4年6月においては、45時間以上が26%、20時間～44時間が30%、20時間未満が44%であったが、令和5年6月においては、45時間以上はゼロ、20時間～44時間が12%、20時間未満が88%と、時間外労働を大幅に削減した。
- 労働者からは、家族と過ごせる時間が増えた、より計画的に仕事に取り組めるようになった、職場の雰囲気の良いようになった、などの声が出ている。

(今後の取組)

「残業0」を目指し、段階的に働き方改革を推進していく。